

事務事業	140	高齢者はり・きゆう施術費助成事業	担当課 課長	福祉課 安川 繁典	担当係 担当者	高齢者サービス係 小林 裕美
第5次 計画 体系 系	施策	11 高齢者福祉の充実	予算 科目	会計	1	一般会計
	施策の目的	高齢者が地域で安心して暮らし続けます		款	3	民生費
				項	2	高齢者福祉費
				目	2	高齢者在宅生活支援事業費
			基本事業	130	高齢者在宅生活支援事業費	
実施期間	<input type="checkbox"/> 25年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	S50 年度より開始	法令根拠 条例等	志免町はり・きゆう費補助金支給規則		

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)

65歳以上の方が、はり・きゆう院で施術を受けた際に補助金を支給する。
月に4回を限度に1回の施術費の半額(1,000円を上限)を支給する。
このことにより、65歳以上の方の健康と福祉の向上に繋げることを目的とする。

2次評価会議に提出します
(左にチェックを入れる)

主 な 事 業 費 の 内 訳	はり・きゆう施術費補助金	1,149 千円
	消耗品費	2 千円
		千円
		千円
		千円

【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)

個人及び町内業者からの申請に基づき補助金を支給。

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務 事業 の 目 的	① 手段(主な活動)	25年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) ・町内はり・きゆう事業者、および町外はり・きゆう事業所を利用した65歳以上の町民への施術料の支払い ・町内事業所への契約更新事務。
	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	町内在住の65歳以上の方 (平成21年度までは町内在住の60歳以上の方)
	③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか)	はり・きゆう施術費を助成することにより、施術を受けやすくなる。

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値			
	名称	単位	24年度	25年度	26年度
ア	はり・きゆう施術費	千円	1,260	1,149	1,296 (見込)
イ	支給決定回数	回	1,271	1,149	1,296 (見込)
ウ	利用者数	人	112	109	109 (見込)
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
	名称	単位	24年度	25年度	26年度
ア	満65歳以上の高齢者数(年度末)	人	8,686	9,323	9,405 (見込)
イ					(見込)
ウ					(見込)
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
	名称	単位	24年度	25年度	26年度
ア	はり・きゆう施術回数	目標		1,570	1,296
		実績	1,271	1,149	
イ	はり・きゆう利用者数(延べ)	目標		393	399
		実績	392	353	
ウ	支給を受けた高齢者(65歳以上)の割合	目標		1.4	1.2
		実績	1.3	1.1	
エ		目標			
		実績			
オ		目標			
		実績			

(2) 総事業費の推移

事 業 費	財源内訳(千円)		24年度 (決算値)	25年度 (当初予算)	25年度 (決算値)	26年度 (当初予算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
	経 費	国・県支出金、地方債等							
		受益者負担等							
		一般財源	1,266	1,573	1,151	1,299			
		合計(A)	1,266	1,573	1,151	1,299	0	0	
		(内臨時・嘱託職員人件費)							
	正職員人件費[按分](B)	1,608	2,066	1,640	1,686				
トータルコスト(A)+(B)	2,874	3,639	2,791	2,985	0	0			

事務事業評価表(事業実施年度:平成25年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？ 昭和50年頃、老人の健康管理と福祉向上のために開始。	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか？ 町内事業所が1ヶ所廃止され、利用者数が減少した。	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？(誰からの意見か明記) 特に無し。
---	--	--

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		25年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成25年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続		<input checked="" type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください <input type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→) ② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか？(事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	はり・きゅうの施術を受けることにより、高齢者の健康の保持・福祉の向上につなげ、地域生活を安心して暮らせるようにする。 医療目的ではなく、健康保持のためにはり・きゅうの施術を受ける際は医療保険が適応されず利用者負担が大きい。そのため、医療保険外のはり・きゅう施術に対して、町が補助を出すのは妥当である。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか？ <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→) ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	年1回、町のホームページと広報にて周知している。また、窓口や事業所にて案内をしている。 利用者の負担が増えるため、利用者・利用回数の減少が危惧される。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか？(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	高齢者人口は増えているが、町内の事業所を利用している方はまとめて事業所が申請している。また、本事業のコストは窓口業務にかかる人件費のみであるため、本事業の予算は必要最小限と思われる。

(2) 25年度を振り返って(全体総括・反省点)

利用者数は減少傾向にあるが、25年度中に町内新規事業所が1件増えたことで今後、利用者増が期待できる。

3 今後の方向性(26年度以降の計画と27年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成26年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	